

暮らしのなかの陰陽五行 ～『龍虎図』をめぐる～

2022年11月26日（土）
18:00～19:30〔受付開始 17:30～〕

会場 豊島区立目白庭園
せきちょうあん
赤鳥庵（豊島区目白3-20-18）

参加費 1,800円
（別途ライトアップ観覧料
300円が必要）

定員 50名
（事前申込み先着順、中学生以上）
＊定員に達し次第、締切

古代中国に端を発し、四季や年中行事と結びつき独自の発展をして日本の文化や生活に組み込まれてきた陰陽五行説。自然界の全ては「陰」と「陽」の相反する2つの力のバランスで成り立ち、5つの要素が互いに関連し影響を与え合いながら存在するという考え方は。身の回りに目を向けると、私たちの暮らしの様々なところにこの考え方が根付いていることに気づきます。

今回は、料理の素材や器、暦、物語や神話、芸能といった身近な具体例から、深遠なこの思想の基本をわかりやすくお話します。また、寅年の今年、美術館などでよく目にする画題『龍虎図』をとりあげ、絵に込められた壮大な世界観を読み解いていきます。

伝統文化ジャーナリスト / 氷川まりこ氏
（ひかわまりこ）

横浜エフエム放送で開局準備から番組の企画・編成を担当。その後、フリーの放送作家、雑誌記者、編集者として幅広くトレンドの取材を重ね、雑誌『Hanako』では創刊準備から携わる。1990年代以降は、能、狂言、茶、禅、花、香など自らが一流の師のもとで稽古・経験を重ねてきた伝統文化、伝統芸能に目を向け、現代人の視点や感覚を重視した「伝統」の紹介を続けている。豊かな経験と取材に裏づけられた知識を基に、多岐にわたるジャンルを縦横につなげて時代や文化をまるごととらえる力は評価が高く、多くの人間国宝や家元から取材の指名を受けている。

申し込み方法

往復はがき または ファクスかメールにて

①イベント名 ②住所 ③参加者氏名 ④参加者年齢 ⑤電話・ファックス番号
を記入の上、申込み下さい。

目白庭園管理事務所で直接申込みも可。なお、電話での申込みはできません。

■申込・問合せ：〒171-0031 豊島区目白3-20-18
TEL:5996-4810 FAX:5996-4886

豊島区立目白庭園
MAIL: info@mejiro-garden.com

